



PRESS RELEASE



資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

あなたの特別なひとときを彩る カラフルでスイートな冬の新定番

新国立劇場の冬の風物詩として、開場以来バージョンを変えながら愛されてきた『くるみ割り人形』。2025/2026 シーズンは、英国の振付家ウィル・タケットによる新国立劇場オリジナル版を新制作いたします。バレエにとどまらず、演劇作品や、様々なジャンルをミックスしたクロスジャンルの作品を手掛け、オリヴィエ賞など数多くの賞を受賞し世界的に活躍しているウィル・タケットが新国立劇場バレエ団に作品をつくるのは、2023年に世界初演した『マクベス』に続き2作目。同じく『マクベス』を手掛けた美術・衣裳デザイナーのコリン・リッチモンドと共に、カラフルでスイートな『くるみ割り人形』の世界を創り上げます。新国立劇場からお届けする、ホリデーシーズンの新定番をクリスマス、年越し、お正月の特別なイベントとしてどうぞお楽しみください。

また、本公演は令和7年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業による、4歳～18歳以下の子供1,000名の無料招待を実施いたします。



令和7年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

『くるみ割り人形』ご観劇のおすすめポイント3選！

1. 小さなお子様やバレエ鑑賞が初めての方にも！

『くるみ割り人形』は、クリスマス・イブの夜、少女クララがくるみ割り人形とともに夢の世界を旅する物語。クリスマスパーティーのシーンから幕を開け、魔法で大きくなるクリスマツリーや幻想的な雪の国など、ホリデーシーズンにぴったりの華やかな世界が広がります。世界各国のバレエ団が年末年始にこの作品を上演し、子どもから大人まで幅広い世代に愛されている、まさに季節の風物詩です。公演期間中、劇場内には大きなクリスマツリーが飾られ、観劇とともにクリスマスマードもお楽しみいただけます。公演時間は休憩を含めて約2時間と比較的コンパクトで、初めてのバレエ鑑賞にはぴったりの作品です。



2. チャイコフスキーのお馴染みの美しい音楽

『くるみ割り人形』は音楽の面でも親しみやすく、バレエ作品の中で最も知られていると言えるかもしれません。第2幕のお菓子の国で繰り広げられるディヴェルティスマン（舞踊の余興）では、「花のワルツ」「葦笛の踊り」「金平糖の精の踊り」など、CMなどでも耳にしたことがあるような名曲が登場します。自然と口ずさみたくなるような、どこか懐かしさを感じさせるメロディが、物語をいっそう魅力的に彩ります。

3. ウィル・タケットによる新制作！スイートな世界観

今シーズン、新国立劇場では『くるみ割り人形』を新制作でお届けします。振付はイギリスの振付家ウィル・タケットによるもので、今年9月からリハーサルが始まりました。第2幕のお菓子の国では、従来のように各国の踊りを披露するのではなく、タケット版では可愛らしいスイーツたちが登場し、キュートな踊りを繰り広げます。どんなお菓子たちが登場し、どのような衣裳や舞台美術で表現されるのかは、初日の幕が開くまでのお楽しみ。新作ならではのワクワク感も、この舞台の大きな魅力の一つです。



コリン・リッチモンドによる舞台模型（第1幕）

ものがたり

クリスマス・イブ、シュタールバウム家では年に一度のクリスマスパーティーの準備を進めています。一方、クララの名付け親ドロッセルマイヤーは助手である自分の甥と共に、パーティーで披露する手品やプレゼントを準備しています。

パーティーが始まり、賑やかな雰囲気の中でクリスマツリーが点灯され、子どもたちはダンスを披露します。そこへドロッセルマイヤーが到着し、魔法のような出し物を見せた後、クララにくるみ割り人形をプレゼントします。嫉妬した弟フリッツが人形を壊してしまいますが、甥が修理をしにまた来ると約束してくれ、クララは彼の優しさに惹かれます。夜が更け、家族は眠りにつきます。

深夜、クララが人形を確認しに行くと大きなネズミたちに襲われます。ドロッセルマイヤーが現れ、魔法で部屋を変えると、巨大なクリスマツリーの下でネズミ軍とくるみ割り人形率いる兵隊たちの戦いが始まります。ついにくるみ割り人形とクララが戦いに勝利すると、ドロッセルマイヤーはくるみ割り人形を王子に変えます。

クララと王子は雪の国を抜け、お菓子の国へ向かいます。そこでクララは金平糖の精として迎えられ、国中が踊りと喜びに包まれます。しかし、クララは家に戻らねばなりません。

翌朝、甥が人形を修理しにシュタールバウム家を訪れると、目を覚ましたクララは彼に感謝し、家族全員で幸せなクリスマスを祝います。この日が最も素晴らしいクリスマスに違いない、とドロッセルマイヤーはツリーの影から見守るのでした。



©Takeshi Kanou

スタッフプロフィール

【振付】 ウィル・タケット (Will TUCKETT)



ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、日本、中国で活動し、数々の賞を受賞している国際的な演出家・振付家。25年以上にわたり英国ロイヤルバレエのメンバーとして活動し、振付を行う。劇場での活動のほか、オペラ、ミュージカル、映画など様々な分野で活躍し、これまでに英国ロイヤルバレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエ、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、カナダ国立バレエ、中国国立バレエ、テキサス・バレエ・シアター、サラソタバレエ、英国ロイヤルオペラ、オペラノース、ウェールズ国立オペラ、ガーシントン・オペラ、サドラーーズ・ウェルズ、バービカン、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー、シェークスピアズ・グローブ、アルメイダシアター、パルコ、KAAT、セージ・ゲツヘッド、ホワイトチャペル・ギャラリー、テート・モダン、ナショナルギャラリー、BBC、チャンネル4、スカイ・アーツなどで振付・演出を行っている。2006年、ロイヤルオペラハウス初の ROH2 クリエイティブ・アソシエイトに任命され、新しい観客や家族のための革新的な作品の考案と提供を担当している。これらの作品は、オペラハウス内および英国内外のツアーで上演されている。彼のプロダクションである『The Wind in the Willows』は、ロイヤルオペラハウスのショーとして初めてウエスト・エンドに商業的に移され、2014年オリヴィエ賞の最優秀エンターテインメント賞を受賞した。彼のプロダクションの映像には、『ピノキオ』(BBC)、ストラヴィンスキー『兵士の物語』、ピーター・シェイファー『ピサロ』(WOWOW)、『Titian:Metamorphosis』(BBC)、『Elizabeth』(スカイ・アーツ)などがある。新国立劇場では『マクベス』の振付を手がける。

【編曲・指揮】 マーティン・イエーツ (Martin YATES)



20年余りにわたり多彩なジャンルで活躍してきた英国人指揮者。ピアノ、作曲、指揮を学んだ後、イスラエル・ナショナル・オペラで指揮者としてデビュー。以降、英国内のロンドン交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、バーミンガム市立交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー、ハレ管弦楽団などのオーケストラに客演し、ヨーロッパ各地の管弦楽団に招かれている。スウェーデン室内管弦楽団ではマーク=アンソニー・タネジの『A Prayer Out of Stillness』の世界初演を指揮。また一流の伴奏者としても評価が高く、ホセ・カレーラス、バーバラ・ヘンドリックス、ブリン・ターフェル、モンセラート・カバリエ、ロベルト・アラニヤ、アンジェラ・ゲオルギュー、ヨーヨー・マら世界的に有名な芸術家と共に演している。

またミュージカル指揮者としても知られており、ウエスト・エンドのミュージカルのヒット作の音楽監督を多数務めている。バレエは音楽活動の中心的位置を占めており、英国ロイヤルバレエとは、2004年2月にストラヴィンスキー作曲『アゴン』でデビューして以来、これまでに『マノン』『ロメオとジュリエット』『うたかたの恋』『七つの大罪』『白鳥の湖』を指揮したほか、同団のツアー公演に同行している。ノルウェー国立バレエ団、フィンランド国立バレエ団にもたびたび客演し、成功を収める。新国立劇場では、『マノン』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ドン・キホーテ』『夏の夜の夢』『マクベス』を指揮している。

【美術・衣裳】 コリン・リッチモンド (Colin RICHMOND)



王立ウェールズ音楽演劇大学修了。主な作品に『オズの魔法使い』(カーヴ劇場ほか)、『101匹わんちゃん』(リージェンツパーク)、『グリース』(ウエスト・エンド、英国ツアー)、『The Magicians Elephant』(ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー)、『ウェンディ&ピーター・パン』(Bunkamura ほか)、『ピサロ』(パルコ)、『イーストウィックの魔女たち』(シルクス劇場)、『サンセット大通り』(英国ツアー)、『アニー』(ウエスト・エンドほか)、『タイタス・アンドロニカス』(ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー)、『スウェイニー・トッド』(ウェールズ・ナショナル・オペラほか)、『十二夜』『背信』(クルーシブル劇場)、『終わり良ければすべて良し』『アントニーとクレオパトラ』(グローブ座)。映像では『Doctor Who』(BBC)、バレエでは『マーリン』(ノーザン・バレエ)、『ピノキオ』(ナショナル・バレエ・オブ・カナダほか)、オペラでは『カルメン』『魔笛』『キス・ミー・ケイト』(オペラノース)等。新国立劇場では『マクベス』の美術・衣裳を手がける。公式 web サイト：www.colinrichmond.com

【指揮】富田実里 TOMITA Misato



埼玉県出身。国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部指揮教室等で指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、英国イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、日本でも東京バレエ団、牧阿佐美バレエ団、「NHK バレエの饗宴」ほかで指揮を務め好評を得る。新国立劇場では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、17年よりレジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『ペンギン・カフェ』『コッペリア』『不思議の国のアリス』などを指揮している。近年の新国立劇場以外の活動としては、新作バレエ制作の音楽監督や、バレエ音楽についての執筆・講義活動も行っている。現在、井上バレエ団音楽監督、新国立劇場バレエ研修所『バレエと音楽』講師。

配役・プロフィール

2025年12月						
	19日(金) 19:00	20日(土) 13:00	20日(土) 18:00	21日(日) 14:00	23日(火) 19:00	24日(水) 19:00
クララ	米沢 唯	木村優里	小野絢子	池田理沙子	米沢 唯	柴山紗帆
王子	渡邊峻郁	速水渉悟	李 明賢	水井駿介	渡邊峻郁	井澤 駿

2025年12月						
	25日(木) 19:00	27日(土) 13:00	27日(土) 18:00	28日(日) 14:00	29日(月) 13:00	29日(月) 18:00
クララ	米沢 唯	東 真帆	木村優里	米沢 唯	柴山紗帆	小野絢子
王子	渡邊峻郁	奥村康祐	速水渉悟	渡邊峻郁	井澤 駿	李 明賢

2025年12月		2026年1月				
		1日(木・祝) 14:00	2日(金) 14:00	3日(土) 13:00	3日(土) 18:00	4日(日) 14:00
クララ	木村優里	小野絢子	池田理沙子	柴山紗帆	小野絢子	東 真帆
王子	速水渉悟	李 明賢	水井駿介	井澤 駿	李 明賢	奥村康祐

【クララ/金平糖の精】



小野絢子 ONO Ayako <プリンシパル>

東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほぼ全ての作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。



木村優里 KIMURA Yuri <プリンシパル>

千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ジゼル』などの古典作品やF.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、R.プティ『コッペリア』の主役のほか、『ラ・バヤデール』ガムザッティ、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ハートの女王などを踊っている。22年プリンシパルに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川銳之助賞を受賞。



柴山紗帆 SHIBAYAMA Saho <プリンシパル>

東京都出身。バレエスタジオ DUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。15年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主役デビューを果たし、『白鳥の湖』をはじめとする古典作品やF.アシュトン『シンデレラ』『夏の夜の夢』の主役、G.バランシン『テーマとヴァリエーション』『シンフォニー・イン・C』第一楽章、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ハートの女王などを踊っている。21年ファースト・ソリスト、23年プリンシパルに昇格。



米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリスなどがある。25年『ジゼル』ロンドン公演では初日公演の主演を務め、「理想的なジゼル」と高く評された。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。



池田理沙子 IKEDA Risako <ファースト・ソリスト>

東京都出身。バレエスタジオ DUO で学ぶ。2009年ユース・アメリカ・グランプリ女性シニアの部銅メダルほかコンクール受賞歴多数。K.バレエカンパニーを経て、16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し19年ファースト・ソリストに昇格。『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』『ジゼル』やF.アシュトン『シンデレラ』『夏の夜の夢』、R.プティ『コッペリア』、D.ビントレー『アラジン』、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』などの主役のほか、平山素子『Butterfly』『春の祭典』を踊っている。25年中川銳之助賞受賞。



東 真帆 HIGASHI Maho <ファースト・アーティスト>

長野県出身。白鳥バレエ学園で学び、ウィーン国立バレエ ジュニアカンパニー、ワガノワバレエアカデミー、パリ・オペラ座バレエ短期契約、スターダンサーズ・バレエ団を経て2024年新国立劇場バレエ団に入団。『眠れる森の美女』誠実の精、サファイア、白い猫、『ジゼル』ペザント パ・ド・ドゥ、W.フォーサイス『精確さによる目眩くスリル』などを踊っている。25年ファースト・アーティストに昇格。本公演が全幕作品の主演デビューとなる。

【ドロッセルマイヤーの助手/くるみ割り人形/王子】



井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシバル>

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシバルに昇格。

『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典やR.プティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D.ビントレー『アラジン』ランプの精ジーンなどを踊っている。18年中川銳之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞、22年芸術選奨文部科学大臣新人賞。



奥村康祐 OKUMURA Kosuke <シーズン・ゲスト・プリンシバル>

大阪府出身。母・地主薰に師事し、09年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団に入団し、16年よりプリンシバル。

『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ドン・キホーテ』などといった古典作品やD.ビントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主役のほか、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロルなどを踊っている。10年文化庁芸術祭新人賞、14年舞踊批評家協会新人賞、16年中川銳之助賞、22年芸術選奨文部科学大臣賞。



速水渉悟 HAYAMI Shogo <プリンシバル>

京都府出身。ジョン・クランコ・バレエ学校を経て、2015年ヒューストン・バレエに入団。15年ユース・アメリカ・グランプリNYファイナル男性シニア部門金賞、審査員特別賞を受賞。18年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。20年『ドン・キホーテ』で全幕主役デビューを果たし、21年ファースト・ソリスト、23年プリンシバルに昇格。古典作品やR.プティ『コッペリア』、F.アシュトン『夏の夜の夢』、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』の主役などを踊っている。24年中川銳之助賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。



渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシバル>

福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシバル昇格。古典作品の主役やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、F.アシュトン『夏の夜の夢』オーベロン、『Shakespeare THE SONNETS』などを踊り好評を博している。



水井駿介 MIZUI Shunsuke <ファースト・ソリスト>

新潟県出身。佐渡バレエフレンドにてバレエを始め、渡辺珠実、上田めぐみに師事。2009年よりウィーン国立バレエ学校に留学。11年ウィーン国立バレエに研修生として入団。ボーランド国立バレエに移籍し、16年コリフェに昇格。『眠れる森の美女』青い鳥、『ロミオとジュリエット』マキューシオを踊る他、現代を代表する振付家の作品に多数出演する。19年より牧阿佐美バレエ団に在籍し、『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『白鳥の湖』『リーズの結婚』『アルルの女』に主演。24年新国立劇場バレエ団に入団。『眠れる森の美女』青い鳥、『エチュード』、『ジゼル』ペザント・パ・ド・ドゥなどを踊っている。



李 明賢 Lee Myeonghyun <ソリスト>

韓国出身。2017年コリア国際バレエコンクール プレジュニア部門で金賞受賞。カナダ国立バレエ学校に留学後、20年韓国国立バレエに入団。22年ソウル国際バレエコンクール第1位を受賞。23年パリ・オペラ座バレエ短期契約、ユニバーサル・バレエを経て、24年新国立劇場バレエ団にファースト・アーティストとして入団。『くるみ割り人形』青年／騎兵隊長、『ジゼル』ペザント・パ・ド・ドゥ、『不思議の国のアリス』ルイス・キャロル／白ウサギなどを踊っている。25年ソリストに昇格。本公演が全幕作品の主演デビューとなる。

公演概要

2025/2026 シーズン

新国立劇場バレエ団「くるみ割り人形」

The Nutcracker

芸術監督 吉田 都

振付 ウィル・タケット（レフ・イワーノフ原振付による）

音楽 ピョートル・イリイチ・チャイコフスキイ

編曲 マーティン・イエーツ

美術・衣裳 コリン・リッチモンド

照明 佐藤 啓

映像 ダグラス・オコンネル

指揮 マーティン・イエーツ／富田実里

管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団

合唱 東京少年少女合唱隊

出演 新国立劇場バレエ団

【公演日程】

2025 年

12月 19日 (金)	19:00
12月 20日 (土)	13:00 託児 ／18:00
12月 21日 (日)	14:00 
12月 23日 (火)	19:00 
12月 24日 (水)	19:00
12月 25日 (木)	19:00
12月 27日 (土)	13:00／18:00
12月 28日 (日)	14:00 託児 ※
12月 29日 (月)	13:00／18:00 
12月 31日 (水)	16:00

2026 年

1月 1日 (木・祝)	14:00 
1月 2日 (金)	14:00 
1月 3日 (土)	13:00／18:00 
1月 4日 (日)	14:00 託児

* 開場は開演 45 分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

※12月 28 日公演は「ぴあスペシャルデー（ぴあ貸切公演）」のため、前売り券は「チケットぴあ」で販売いたします。新国立劇場では Z 席のみ販売します。

託児 託児室＜キッズルーム「ドレミ」＞がご利用になります。



子ども無料招待対象日（詳細は本リリース最終ページをご覧ください）

バックステージツアー実施日

- ・事前申し込み・抽選制です。
- ・入場料は300円(現金のみのお取り扱い)です。
- ・ご参加は、当日の公演チケットをお持ちの方のみとさせていただきます。
- ・ご希望の方は当日の開演までに、WEB申し込みフォームまたは当日会場で配布する参加申込書よりお申し込みください。
- ・ツアーコンテンツが決定次第、公演初日の約1週間前を目安にフォームを掲載いたします。

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より1駅、初台駅中央口直結）

【予定上演時間】約2時間15分（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/nutcracker/>

【チケット料金（税込）】

席種	S席	A席	B席	C席	D席	Z席*
料金（税込）	15,950円	13,750円	10,450円	8,250円	6,050円	1,650円

*Z席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z席は公演当日朝10:00から、新国立劇場Webボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1人1枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は開演2時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

アトレ会員先行販売期間：2025年10月4日（土）10:00～13日（月・祝）

新国メンバーズ先行販売期間：2025年10月5日（日）10:00～13日（月・祝）

一般発売日：2025年10月19日（日）10:00～

【チケットのお求め・お問い合わせ】

＜ウェブでの予約・購入（座席選択可）＞

新国立劇場 Web ボックスオフィス <https://pia.jp/nntt/>

チケットぴあ <https://pia.jp/t/>

イープラス <https://eplus.jp/>

ローソンチケット <https://l-tike.com/>

＜電話での予約・購入＞

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

*年末年始のボックスオフィスの営業時間につきましてはWebサイトをご確認ください

新国立劇場のオペラ・バレエ公演に 18 歳以下の皆さまを無料ご招待！

新国立劇場ではバレエ『くるみ割り人形』(新制作) (12 月-2026 年 1 月) に計 1,000 名のお子様 (4 歳~18 歳以下*) を無料でご招待いたします。

* 平成 19 年 (2007 年) 4 月 2 日以降に生まれた、公演当日に 18 歳以下の子様

これは令和 7 年度文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業に採択され、行われるもの

令和 7 年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業とは？

子供たちが劇場・音楽堂等において本格的な実演芸術を鑑賞・体験等する機会を提供する取組を支援することによって、子供たちの豊かな人間性の涵養を図るとともに、将来の文化芸術の担い手や観客育成等に資することを目的とします。(詳細は[文化庁ホームページ](#)をご参照ください)



令和 7 年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

【対象公演日】

2025 年	2026 年
12 月 23 日(火)19:00	1 月 1 日(木・祝)14:00
12 月 29 日(月)18:00	1 月 2 日(金)14:00
	1 月 3 日(土)18:00 (ご招待人数: B・C 席 各回 200 名 計 1,000 名様)

【受付期間】2025 年 10 月 19 日(日)10:00~各公演前日 12:00 まで

※同伴保護者等の隣席購入 (B・C 席正価) は【12/23・29 公演分】は 12 月 16 日(火)12:00、【1/1・2・3 公演分】は 12 月 23 日(火)12:00 で締め切らせていただきます

※先着順です

【申込条件】公演当日に 4 歳~18 歳以下の子様

※平成 19 年 (2007 年) 4 月 2 日以降に生まれた、公演当日に 18 歳以下の子様が対象です。

※平成 19 年 (2007 年) 4 月 1 日以前生まれの方は、公演当日に 18 歳であっても対象外となります。何卒ご了承ください。

お子様がお一人で公演を鑑賞することが難しい場合、保護者の方との同伴来場を推奨しております。お子様との隣席でご購入いただくことが可能ですが(先着順、席種指定・正価のみ)。

【お座席について】

○座席選択はできません (当日引換制)

※同伴する保護者等の方がお子様との隣席購入をお申込みの場合に限り、席種をお選びいただけます(各公演お選びいただける席種が異なります。座席はお選びいただけません)。お子様の席は大人の方との同席種・隣席でのご用意となります。

【子ども無料招待申込方法】

ウェブサイトより公演ごとにお申込みください。それぞれの募集期間の間、先着で受付いたします(一回の申込につき 4 枚まで)。

※お申し込み時に、ご来場されるご本人様の氏名・生年月日をご登録いただき、公演当日ご来場時にご本人確認を行います。ご本人確認ができない場合、ご入場いただけません。

ご来場までの流れなどの詳細につきましては、下記のウェブサイトをご覧ください。

https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_030195.html

【お問い合わせ先】新国立劇場営業部 opera09@nntt.jac.go.jp